



静岡大学 (静岡県)

・豊かな自然環境で学ぶ、バランスのとれた日本語教育と専門教育

◇大学紹介



①大学の概要

静岡大学は、人文社会科学部、教育学部、情報学部、理学部、工学部、農学部、グローバル共創科学部からなる総合大学であり、大学院としては教育学研究科はじめ4研究科があります。また、教育学部の附属施設には、小中学校、特別支援学校、幼稚園があります。

静岡市は静岡県の県庁所在地であり、その人口は70万人以上です。南方には太平洋、北方には富士山が眺望でき、日本のほぼ中心に位置します。また、年間を通して暖かく、様々な文化的機会に触れることができます。

②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2024年度：418人

2023年度：410人

2022年度：394人

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2024年度：0人

2023年度：0人

2022年度：0人

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

1982年から教員研修留学生の受け入れを開始して以来、バランスの取れた日本語教育と専門教育が行われるよう努めてきました。

②受入定員

2名

③奨学金支給期間

2025年10月～2027年3月(国費奨学金)

④コースの修了要件

概ね週10時間の演習・論文指導等を受講することが必要である。中間発表、最終発表、最終レポートの提出をもって修了とする。

⑤研修コースの概要

・日本語教育(国際連携推進機構で実施)

1) 日本語研修コース(日本語ゼロ学生)

週5クラス

2) 日本語教育プログラム

・初級前半(日本語1) 週4クラス

・初級後半(日本語2) 週3クラス

・中級前半(日本語3) 週4クラス

・中級後半(日本語4) 週4クラス

・上級(日本語5) 週2クラス

・専門教育(主に2026.4月～2027.3月)

留学生の希望する研究テーマをもとに、その分野の担当教員が指導教員となり、研究指導を行います。希望があれば、研究分野以外の講義等の受講も認められます。開講言語は日本語です。

・見学・地域交流等の参加型科目

教育プログラムの一環として附属学校を訪問し、生徒・児童と交流することができます。

◇修了生へのフォローアップ

本国に帰国後、要請があれば、指導教員がEメール等で教育実践や研究の助言を行います。タイ・インドネシア・ベトナムでは静岡大学海外同窓会を組織し、修了生も参加しています。

◇宿 舎

○宿舎数

・単身用：95室

・夫婦用：若干数

・世帯用：若干数

○宿舎費

単身用・入居にかかる費用：13,200円

・宿舎料等(月額)：約27,400円

夫婦用・入居に係る費用：32,000円

・宿舎料等(月額)：約42,000円

世帯用・入居に係る費用：34,000円

・宿舎料等(月額)：約51,600円

宿舎費の前納の必要はありません。

○宿舎設備・備品

(単身用の場合)

・5人1組によるユニット制

個室内：机、椅子、ベッド、タンス

ユニット内：ダイニング、キッチン、シャワー、

トイレ、洗濯機、乾燥機、冷蔵庫

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

大学までの距離は約2kmであり、バスや自転車

で15分の距離です。

近隣にスーパーマーケット・コンビニエンス

ストアもあり、落ち着いた環境です。

◇問合せ先

大学所在地

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836

担当部署：静岡大学教育学部学務係

連絡先TEL：(054) 238-4571

FAX：(054) 237-6254

E-mail：edgakumu@adb.shizuoka.ac.jp

静岡大学：

<http://www.shizuoka.ac.jp/>

大学名： 静岡大学(大学番号24)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科 等名	教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
24001	藤井 道彦 教授	fujii.michihiko@shizuoka.ac.jp	技術教育	技術教育、栽培、農業教育、環境教育	☒ 小学校教員 ☒ 中高教員 ☐ その他()	日本語／英語	1人	ある程度の英語能力 マラウイ1名

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。